

町政 一般質問 を問う！



一般質問とは、議員が町政全般に関して、執行機関（町長や行政委員会）にその執行の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項等について質問をすることをいいます。

清水町議会では1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。



12月定例会では、6人の議員が10項目にわたり一般質問を行いました。

※1議員最大3項目まで掲載、質問と答弁は要約し掲載しています。

一般質問の全文はホームページでご覧いただけます。（12月定例会の内容は3月末に掲載予定です）



佐藤 幸一 議員 10ページ

- 1 带状疱疹ワクチンの任意接種者に対する助成について



山本 奈央 議員 11ページ

- 1 町名変更にかかる取り組みについて



鈴木 孝寿 議員 12ページ

- 1 十勝清水町への町民変更における考え方について
- 2 物価高への対応について
- 3 職員採用と企業との連携の考え方について



中河 つる子 議員 13ページ

- 1 今後の除雪体制について



只野 敏彦 議員 14ページ

- 1 除雪・排雪について
- 2 十勝清水町への町名変更について



川上 均 議員 15ページ

- 1 英語教育を中心とした国際人材教育の推進を問う
- 2 町長の選挙公約実現に向けた組織改革及び人材登用の考え方について問う

各議員のページにある「QRコード」を読み込むと、それぞれ一般質問のやり取り（YouTube映像）をご覧いただけます。

带状疱疹ワクチンの 任意接種者に対する 助成について



佐藤 幸一 議員

町長 新年度においても、町独自で予防接種の対象者を拡大する考えはない



【町内各病院で接種ができます！】

- ・ 清水赤十字病院 (62-2513)
- ・ 前田クリニック (62-2032)
- ・ だい内科医院 (69-3555)
- ・ 御影診療所 (67-7320)

※接種には、事前予約が必要です。



問

本件は、去る9月定例会で質問したところ、任意接種者に対する町独自の助成は難しいとのことであったが、その答弁に対し町民から落胆の声が多く寄せられている。
そこで新年度において、町民の命を守るため、一定の年齢以上の任意接種者に対する助成措置を講じていただきたいと思います。また、再度町長の考えを伺う。

町長

带状疱疹ワクチン接種については、9月定例会の一般質問において、本町では、他の定期接種同様、基本的に公費負担は予防接種法の定める定期接種と考えており、現時点でその対象を拡大することは考えていない旨、答えたとところである。
今回、新年度に向けて一定以上の年齢の任意接種者に対する助成措置としてはどうかとの質問だ

が、新年度においても、他の定期接種との整合性を考慮し、本町独自でその対象を拡大することは考えていない。
なお、带状疱疹は、高齢者を中心に罹患リスクが高く、重症化や長期の疼痛など、生活の質に大きな影響を及ぼすこともあることから、予防接種の重要性は十分に認識しているところであり、今後も国の制度改正等を注視し、他の予防接種と同様に、在り方について適宜検討していく。



佐藤議員の一般質問全編



町名変更にかかる 取り組みについて



山本 奈央 議員

町長 今後、住民説明会を複数回開催し、丁寧でわかりやすい情報提供に努める

問

町名変更の検討にあたり、どの程度の課題が実際に生じているのか。

誤送付や検索の紛らわしさがあるとの説明だが、どれくらいの事例が確認されているのか。

十勝を加えることで位置が分かりやすくなるとの説明について、根拠が示されていない中でどのように考えているのか。

道外の830人を対象とした調査には「十勝清水町に変更した場合の印象」という設問があり、町名変更により影響が出る項目として「町の知名度」が最も多く挙げられ

ている。「大きく影響する」17・2%、「やや影響する」38・1%という結果について、「やや影響する」をどの程度の「影響」と捉えているのか。その読み取り方をどのように整理しているのか。

郷土愛の醸成、商品単価の上昇、移住促進といったメリットについても、効果との関係はどのように示されているのか。

議論の進め方について、町民から「住民投票の前にアンケートで意向を確かめてはどうか」という声があったが、どのように考えているのか。

町名変更の前段として、変更可能なものを「十勝清水」に変えて発信し、その効果を検証する方法については検討しているのか。

丹波篠山市が8～9年かけて市名変更を検討した事例と比べ、本町では1年余りで住民投票を想

定しているが、その理由をどのように整理しているのか。「紛らわしさの回避」を理由として挙げられている中で、両者の状況の違いをどのように捉えているのか。

住民が判断するために必要な材料・時間・手順について、説明資料の提示時期なども含め、検討しやすい環境をどのように整えていくのか。

町長

町としては「清水」という名称が全国に多数存在することから、郵送物の誤送付や検索時の紛らわしさを課題として認識している。件数の詳細な集計は行っていないものの、他地域宛ての文書が届き転送した事例が確認されており、一定の紛らわしさがあると受け止めている。また、町の位置説明においては「十勝」が全国的に浸透しており、自治体名に加えるこ

とで伝わりやすさが向上すると考えている。

北海道以外の830人を対象とした調査では、町名変更により知名度に

影響があるとする回答が一定数あり、「大きく影響する」「やや影響する」という結果を踏まえ、十勝清水町とすることで場所の分かりやすさやブランド力向上に効果が期待できると捉えている。郷土愛の醸成、商品価値の向上、移住促進といった

点についても、十勝ブ

ンドとの結びつきが町の存在感を高め、各施策の効果を広げる可能性があると考えている。

今後の進め方としては、住民説明会を複数回開催し、必要に応じて出向いて説明するなど、丁寧でわかりやすい情報提供に努める。住民投票前のアンケート実施は現時点では予定していないが、寄せられた意見は今後の進め方の参考としていく考えである。



清水町のカントリーサイン

山本議員の一般質問全編

